

令和5年8月度・残留農薬分析結果について

大庄グループ店舗が使用している青果物を中心とした全ての食材を対象に、総合科学新潟研究所が品目・産地を指定して残留農薬分析を行った結果をご報告致します。

- 分析の結果、30点中、25点で残留農薬が一切検出されませんでした。
- 農薬を検出した5点についても、大庄基準（国の基準の1/2）以下であり、安全性を確認致しました。

分析結果（詳細）

分析 株式会社大庄 総合科学新潟研究所

No.	品目名	産地 (加工地)	生産者等	検出農薬(用途)	分析値 (ppm)	大庄基準値 (ppm)	国内基準値 (ppm)
1	キャベツ	群馬	0801	検出なし	—	—	—
2	じゃがいも	茨城	0802	ホスチアゼート(殺虫剤)	0.02	0.025	0.05
3	たまねぎ	北海道	0803	検出なし	—	—	—
4	ミニトマト	千葉	(株)AIC	検出なし	—	—	—
5	トマト	千葉	(株)AIC	検出なし	—	—	—
6	赤パプリカ	韓国	0806	検出なし	—	—	—
7	セロリ	長野	JA信州諏訪	検出なし	—	—	—
8	空芯菜	静岡	0808	アセタミプリド(殺虫剤)	1	2.5	5
9	ミョウガ	高知	JA土佐くろしお	検出なし	—	—	—
10	ながいも	青森	0810	検出なし	—	—	—
11	九条ねぎ	京都	こと京都(株)	検出なし	—	—	—
12	えだまめ	新潟	0812	検出なし	—	—	—
13	にんにくの芽	中国	0813	検出なし	—	—	—
14	レモン	チリ	0814	フルジオキシソニル(殺菌剤)	1	5	10
15	キウイフルーツ	チリ	0815	フルジオキシソニル(殺菌剤)	1	10	20
16	アスパラガス	長野	JA上伊那	検出なし	—	—	—
17	黄パプリカ	韓国	0817	検出なし	—	—	—
18	さつまいも	茨城	0818	検出なし	—	—	—
19	ニガウリ	茨城	0819	検出なし	—	—	—
20	パイナップル	フィリピン	0820	検出なし	—	—	—
21	きゅうり	長野	0821	検出なし	—	—	—
22	グリーンカール	長野	0822	検出なし	—	—	—
23	みずな	北海道	マルヒ園芸	検出なし	—	—	—
24	にら	高知	JA高知県	検出なし	—	—	—
25	味付け牛ハラミ	アイルランド	0825	検出なし	—	—	—
26	豚レバー	日本	0826	検出なし	—	—	—
27	大根おろし	日本	0827	検出なし	—	—	—
28	剥きエビ	ベトナム	0828	検出なし	—	—	—
29	しめサバ	中国	0829	検出なし	—	—	—
30	白桃缶詰	中国	0830	パクロトラゾール (植物成長調整剤)	0.01	0.01	0.01

注) ① 生産者名の一部は、産地及び生産者等の都合により、番号で記載しております。

② ppm : パーツ・パー・ミリオン(parts per million)の略で、1ppmは、食材1kgあたりに1mgの農薬が含まれることを示します。

<参考>

① 調査対象食材(検体)の抽出方法

大庄基準で定めた抽出方法(大庄ホームページに掲載)で、大庄グループの店舗への全ての流通(納品)を対象に抽出調査を行っています。

② 残留農薬の分析方法

GC/MS(ガスクロマトグラフ質量分析計)を用いた、一斉分析法。

③ 分析対象農薬

256成分(殺菌剤68,殺虫剤107,除草剤74,植物成長調整剤4,薬害軽減剤3)

④ 大庄グループでは生産者の皆様との連携を深め、可能な限り無農薬や農薬使用を減らしていただき、残留農薬の無い食材を確保するように努めてまいります。

この報告書は、大庄総合科学新潟研究所がとりまとめております。